

いぎいぎ農業者

⑥

【埼玉】「より多くの人たちに農業の魅力を伝えたい」と語るのは、熊谷市の野村ファーム（野村孝光代表）で昨年から働いている高階千晴さん（27）と中村友香さん（25）の2人。ヤマトイモやゴマ、タマネギ、ナスなど露地野菜の栽培と収穫に奮闘している。

東京都出身の高階さんは学生時代、農産物販売に関する会社を起業。生産者や農産物と関わる中で「私も生産者になりたい」と考えた。熊谷市出身の中村さんは同市で酪農を営む両親の影響から「野菜で農業振興に貢献したい」と考えた。機械の操作や天候に左右

熊谷市 野村ファーム
高階千春さん
中村友香さん

露地野菜栽培・収穫に奮闘

将来は独立就農めざす

される農作業などに2人は苦労することもあったが、消費者からの「おいしい」の一言が日々のモチベーションにつながった。

野村代表は2人について「まだ就農1年だが、一生懸命良い作物を作ってくれる。今後は仕事の段取りまで自分たちで考え、経営面で生かしてほしい」と話し、信頼も厚い。2人は独立就農を希望しており「今後も2人で切磋琢磨していく」と意気込みを語った。



中村さん（左）と高階さん